

Volume.037

徳山大学校友会誌

とくだい



発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市学園台 徳山大学内

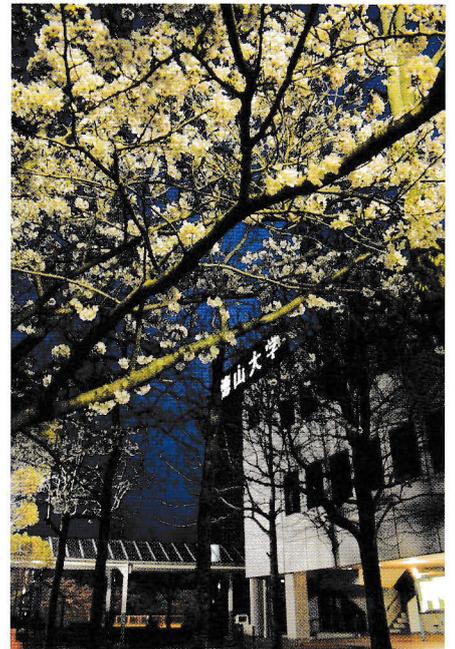
TEL&FAX 0834 (28) 7454

発行日

平成24年12月21日

発行責任者 國廣 憲

編集責任者 瀬川 昌文



徳山大学キャンパスの四季（桜&紅葉）

徳山大学の学内は、四季おりおりのいろどりで道行く学生を楽しませてくれます。

特に春の桜の季節と秋の紅葉の、1日ごとに刻々と変わってゆくその姿はキャンパスの醍醐味と言えるでしょう。

（撮影：中村道陽）

平成二十四年度 評議員会開催

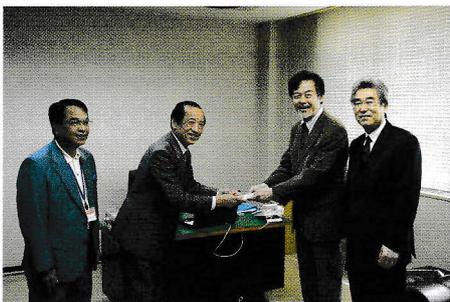


平成24年度評議員会が6月23日周南市ホテルサンルート徳山で開催されました。まず、國廣会長より、「徳山大学は創立40周年を過ぎ、50周年に向けて、地域により輝く大学としての歩みを始めました。皆様のさらなるご支援をいただき、母校発展に協力してまいりたいと思います。」と、挨拶がありました。議事ではまず、23年度の事業及び決算報告、続いて、24年度活動方針・事業計画並びに予算案について審議が行われました。これらの審議の中で特に、校友会の運営について今後3年かけて見直しをしつつ、新しい提案をしていくことが述べられました。このあと、大学の近況について岡野啓介学長より、ご説明いただきました。引き続き行われた、懇談会では大学から理事長・学長ならびに教職員の方々をお迎えし、各地区の卒業生との交流を図りながら、楽しい時間を送ることができました。

東日本復興支援 チャリティコンサート

平成24年3月10日東日本復興支援チャリティのため「フオークコンサート元気です2012」が周南市民館大ホールで開催され400人の聴衆がフオークのソングの名曲を堪能しました。このコンサートは東日本大震災の被災者に対しての募金活動の趣旨で徳山大学と共催で開催され、往時のフオークソングを聞きながら、参加された方自身にも明日への活力を見出していただくことも目的として、約2時間のコンサートが行われました。メインボーカルは卒業生で歌手の永谷青空さん（宇部市在住）バックは徳山大学非常勤講師の山根由紀夫さんをリーダーとしたクロスリバーの演奏でした。また学生ボランティアの協力もあり、コンサートは盛会の裡に終了しました。

コンサートでは12万8千133円の募金が集まり、岡野学長、國廣会長が周南市社会福祉協議会に寄付金として届けました。



第29期卒業 藤村義さん ロンドンオリンピック出場



平成24年3月21日カザフスタンで開催されたロンドンオリンピック予選第2ステージ「アジア大陸地区予選」において藤村義さんは準決勝を突破しロンドンオリンピック出場権を獲得しました。

徳山大学卒業生としてオリンピック出場は初めての快挙であり、多くの関係者が歓喜の声を上げました。藤村さんは1982年山口県田布施町に生まれ、田布施農業高等学校から徳山大学に進学しました。2005年に自衛隊に入隊して、その後地道な努力を続け、今回の出場に至りました。6月30日地元の田布施町公民館で行われた壮行会には、校友会からも駆けつけ、國廣会長から藤村さんにお祝いの激励金が手渡されました。試合は8月7日1回戦が行われ、激闘の末、敗退となりましたが、藤村さんのオリンピック出場は徳山大学そして卒業生にとって、大きな誇りとなりました。

徳山大学の経済効果について考える

経済学部長

石川 英樹

徳山大学にとって、平成23年度は創立40周年という節目の年でした。そこで、本稿ではこれまでの実績を経済の視点から振り返り、本学の存在意義をあらためて示してみたいと思います。

地域社会で大学が果たす主な機能には2つあります。一つは一事業体として地域社会に経済取引をもたらしている側面、もう一つは教育機関として人材を育成し社会の発展に寄与するという側面です。

まず、大学が社会に経済取引をもたらす側面を考えてみましょう。大学はその事業活動に伴う収入・支出に関して様々な経済取引をもたらす、それは地域を経済面で活性化させます。加えて、個人の消費活動もあります。大学には学生や教職員さらには多くの関係者が集まります。集まった人たちが様々な消費活動を行う結果、大きな需要が発生します。本学には現在1千人を超える在學生と教職員がいますから、その人数分の消費が日々地域にもたらされます。さらに、これらの経済取引はそれを支えるための二次的・三次的な経済取引も誘発します。たとえば学生が近隣で食品を購入する場合、その小売店の活動だけでなく食品や原材料の生産活動も活発化されます。

こうした経済効果はどれくらいの規模になるのでしょうか。統計データを用いて独自に推計したところ、年

間23億円程度という数値が出ました。これは、周南市において事業者が市に毎年支払う税金（法人市民税）の合計を上回る金額です。地域経済にとってかなりの規模です。

続いて、もう一つの機能、人材育成を通じた社会への貢献について考えてみます。大学は教育という形で学生に付加価値を与え、卒業生はその成果を社会で発揮し、社会の発展に寄与します。

徳山大学は創立以来約1万5千人の卒業生を輩出してきました。現在、北は北海道から南は沖縄までほとんど全ての都道府県に卒業生が在住しています。本学で学んだ社会人のみなさんが、全国各地で社会を支える原動力として活躍中です。その社会への貢献度を数値で測るために、以下で一つの試算をしてみます。

まず、賃金・所得に注目します。統計で一人当たりの生涯所得をみると、大卒者とそれ以外の学歴（高卒など）者との間には平均で1億1千万円程度の差があります。かなり大きな数値です。少しドライな言い方



ですが、賃金とは就業者の働きに見合った報酬の支払いです。つまり、大卒者が得る1億円超の所得の上乗せ分は、社会への貢献がより大きいことへの報酬だと解釈できます。では、大卒者による貢献がそれだけ大きいのはなぜでし

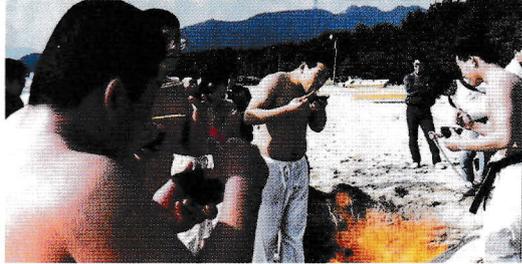
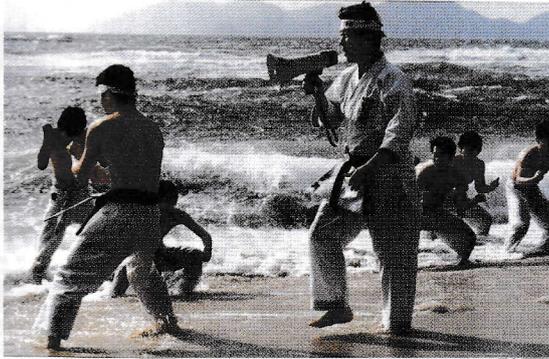
ようか。私は大学での教育・学びの成果だと考えたいと思います。高校までの学習に加えて、大学では勉学や課外活動等を通じて就業のための力を蓄積します。それが高卒者との差になるのです。卒業後の職場での

学びや自分自身の努力による面も大きいのですが、大学時代の学びは社会での学びのための気づきや土台として非常に重要です。ということでも少し強引ですが、1億1千万円という金額は大学が一人の学生を通じて社会にもたらす価値だと考えましょう。

以上から単純計算により、「1億1千万円×卒業生数1万5千人＝1兆6千5百万円」となります。徳山大学は創立以来、教育を通じて社会に1兆6千5百万円の価値を生み出してきた。それがここでの結論です。ただし、卒業生のなかには市議、会社役員、起業家、公務員など様々な要職で活躍中の方々も大勢います。現実には、以上の机上の推計値では表しきれない規模で社会への寄与がもたらされていることでしょう。

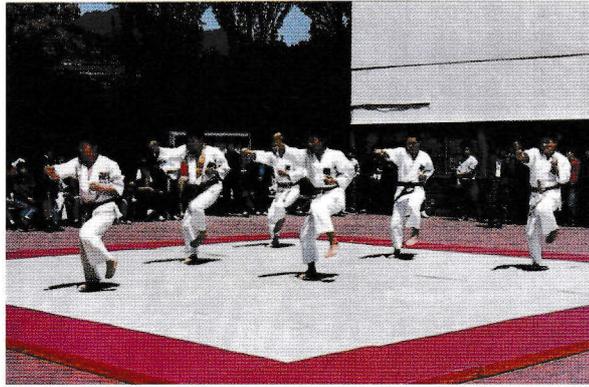
このように、経済の面からみて徳山大学の実績は大変大きなものです。これを今後さらに発展させていくことが、私たち現役の教職員に課せられた課題です。それには、学生の能力向上を支援していくこと、そのために教育力を一層強化していくこと、それ以外にいでしよう。少子高齢化、低成長時代への移行、地域経済の停滞など、大学を取り巻く環境には逆風が吹いています。しかし、これまでの実績を土台にして新たな挑戦を続けることで「地域に輝く大学」として発展していける、私はそう確信しています。

懐かしのキャンパス
〜80年代前半のキャンパスと行事〜



寒行

毎年1月厳寒の光市虹ヶ浜海岸において空手道部の指導のもと実施されていました。終わった後の豚汁がおいしかったですね。



新入生歓迎演武会

4月部員勧誘も兼ねて学食前で行われていました。



学食風景

20期卒ぐらいまでの方には懐かしい風景でしょう。

上が一番人気のトライス定食です。



大学祭風景

グラウンドが人工芝になる前は、大学祭メイン会場として使用していました。多くの芸能人や、学生のユニークな企画が毎年展開されました。下の写真は閉会式の様子で、左サイドのおそろいのジャンパーが大学祭スタッフ。1年間準備し、無事終了を迎え、感極まる瞬間でした。



ポプラの木

かつて学内に大学祭の名にちなんでポプラの木がありました。残念ながら、何度かの台風で倒木しました。現在1号館前では、かえでが見事な紅葉を見せてくれます。

とくだいのスポーツトピックス

ロンドンオリンピックピック磯川孝生さん

(徳山大学職員) 出場関連スナップ集

徳山大学総務課所属の磯川孝生さんがロンドンオリンピックレスリングフリースタイル96kg級に出場されました。壮行会から大徳山夏祭りでの神輿練り歩き、パブリックビューイングの様子をまとめました。



本会顧問の佐原先生と握手の磯川さん



6月29日ホテルサンルート徳山・壮行会



校友会役員と談笑する磯川さん



8月12日・301教室パブリックビューイング 木村市長をはじめ 地域からも沢山の方が来られ声援を送りました

教職員・クラブ学生約150名で参加、徳山の夏の夜を盛り上げました

アーチェリー部 全日本団体3位入賞

6月23日24日に静岡県掛川市(株)ヤマハリゾートつま恋多目的広場で第51回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦が行われました。1回戦関西大学とあたり、初戦のため本学チームは若干緊張が見られましたが接戦を制し、徳山大学198対関西大学195で勝利、2回戦予選4位の拓殖大学をくだし、準決勝まで進み近畿大学とあたりました。結果は徳山大学205対214と敗戦はしたものの非常に良い試合でした。その後、3位決定戦にまわった本学チームは、予選3位の同志社大学とあたり、徳山大学214対同志社大学211と接戦を制して創部以来初の団体3位入賞となりました。

サッカー部快進撃！！

天皇杯山口県代表出場

全日本大学サッカー選手権男女出場



8月26日山口県サッカー選手権大会決勝が山口市の維新公園陸上競技場で行われ、本学サッカー部がJリーグ昇格を目指す、レノファ山口と対戦し、3対2で6年ぶり6度目の優勝を果たし天皇杯に出場しました。1回戦は島根県代表の松江シティFCと対戦、3-0で快勝。続く2回戦はJ1川崎フロンターレと対戦、前半を0-0で終了しましたが、2-0で敗れるという接戦を演じました。サッカー部は男女ともインカレ出場を決め、男子は12月19日11時より早稲田大学と厚木市運動公園にて対戦、また女子は12月26日11時より環太平洋大学短期大学部と兵庫県三木防災総合公園にて対戦します。ご声援ください。



TOKUYAMA UNIVERSITY

徳山大学

40th Anniversary
TOKUYAMA UNIVERSITY

何かに“いちばん”の自分がある。

創立 40 周年記念事業

特別奨学生制度設立 募金のお願い

徳山大学では、次の 10 年（創立 50 周年）に向けて、地域の発展に寄与し、リーダーとなれる人材の育成をめざし取り組みを始めております。その取り組みの一つに「特別奨学生制度設立」があります。

この奨学制度設立の趣旨は、

学業成績優秀者が授業料等諸納付金の経済的負担など心配をせずに入学ができ、本学の特徴である人間力、仕事力を向上するカリキュラムを学ぶことで地域社会に貢献できるリーダー的人材を育成する＝「地域に輝く大学」

ことにあります。

募金活動については、平成 23 年 4 月から平成 25 年 3 月を目途に実施中でございます。

校友会会員の皆様には、平成 23 年度末に「特別奨学生募金趣意書を」お配りし、ご協力をお願いしてまいりました。

これまでに、校友会会員の皆様を始め企業・一般・学内関係者から多くのご寄付を賜り感謝を申し上げます。しかしながら、当初の募金目標には届いていないのが現状でございます。

予定された期日の終了を目前して、再びのお願いで誠に恐縮ではありますが、今一度ご支援の輪を広げていただき、安定した“特別奨学生制度基金”確保のため皆様のご尽力を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

I 特別奨学生募集要領

1. 目標とする人材

主に県内出身者で地元への就職を希望している優秀かつ地域のリーダーになり得る学生を確保する。

2. 学力基準・給付額・採用人数

■特別奨学生の種類

(1) 特別1種奨学生（納付金全額免除）

▶ 国公立、公立大合格レベル

（入学金及び授業料、施設費を最大4年間支給 総額約377万円）4～6人

(2) 1種奨学生（納付金半額免除）

▶ 特別奨学生一種に準ずる者

（入学金及び授業料、施設費の半額を最大4年間支給 総額約188.5万円）

4～6人

※上記各々の採用人数を原則とするが、年度により若干の調整をすることがある。

3. 選考方法

以下の方法により選考する。

(1) 大学センター試験

(2) 面接

II 募金要項

■募金の期間

平成25年3月31日まで

■寄付金に対する減税措置について

学校法人徳山教育財団への寄付金は、特定公益法人に対する寄付金として各種税制上の優遇を受けられます。不明の場合は、お問い合わせください。

※**個人の寄付**については、その年に支出した寄付金の額が2千円を超える場合には、確定申告により寄付金控除による所得税の還付を受けることができます。

法人からの寄付につきましては、寄付金額が当該事業年度の損金に算入されます。損金算入にあたっては、「指定寄付金（寄付金の全額を損金に算入できる）」と「特定寄付金（一定限度額まで損金に算入できる）」の2つがあります。

III お申込方法

個人の場合

1. お振込
2. 現金書留又は寄付金取扱事務局窓口でのお払込

法人の場合

お手数ですが寄付金取扱事務局までお問い合わせ願います。

IV 個人情報の取り扱い

申込用紙等にご記載いただいた情報は、個人情報保護法その他関連する法令等を順守し、下記目的以外には使用しません。

1. 芳名録の作成（匿名を希望の場合は作成いたしません）
2. 領収書等の送付や事務上の連絡



〒745-8566

山口県周南市学園台

寄付金取扱事務局（総務部総務課内）

TEL 0834-28-0411

Fax 0834-28-8790

お便り紹介 一校友会にお寄せいただいたお便りをご紹介しますー



13期 広島県在住 新谷 宏治 さん

私が、気になったのは前田寛先生の記事です。在校中は政治学を専攻し、前田先生の講義を受けたので、定年退職されるのは寂しいです。先生には、一票の格差の講義を受け、本よりも実践的な講義で大変魅力がありました。学生時代には、新聞読み比べをしたり、新聞ダイジェストという本を買ったりと、先生の講義を通して自分の意見を持つことの大切さや周りの人の意見を聞いたり自分の中で、意見を取捨選択していくうちに本質が見えてきたような気がしたものです。前田先生によろしくお伝えください。今も新聞の読み比べは続けていますよ・・・

(追伸) 10号館喫茶の事務局藤田さん、私も喫茶を利用した気がします。

ゴルフと勉強に夢だったので、はっきりとした記憶ではなかったですが、写真を見て思い出しました。懐かしい気がしました。

20期 広島県在住 森 一生 さん

いつも徳大の移り変わりを懐かしく拝見しています。これからも充実した誌面を期待しています。

21期 広島県在住 猪野 龍介 さん

徳大校友会誌が手元に届くたびに仲間と汗を流し剣道に明け暮れた日々を思い出し、胸が熱くなります。大学の友達と毎年1回徳山で集まるようにしています。酒を飲みながら、思い出話をすると、あの日に戻った気がします。

ーありがとうございましたー

<プレゼントコーナー>～山口県名産品～



- ① 山縣本店米・芋焼酎セット・・・1名様
周南市徳山を代表する酒蔵のです。
- ② 杉本利兵衛本店蒲鉾セット・・・3名様
宮内庁御用の白銀を含めた蒲鉾のセットです。
- ③ 朝日屋ロースハム・ベーコンセット・・・3名様
世界最高峰の食肉加工品コンテストで受賞の、下松市の朝日屋のハム・ベーコンセットです。

プレゼント希望の方

希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、会誌へのご意見・ご感想をお書き添えの上、

郵送の場合

〒745-8566 山口県周南市学園台 徳山大学校友会

Eメール応募の場合

kouyukai@tokuyama-u.ac.jp

ご送付ください。

※ご意見・ご感想は、誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承ください。また、個人情報については、事務連絡のみに使用させていただきます。

編集後記・お礼

世の中は大きな変化の時代を迎えています、本会も転機を迎えています。校友会会員皆様のご健勝とご活躍を、お祈り申し上げます。

編集スタッフ 企画広報部主幹 瀬川昌文 (1期)

三嶋隆史 (3期) 中村道陽 (11期) 野村哲也 (20期)

藤田美恵 (事務局) 協力 徳山大学